

長泉町立南小学校

体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年6月17日(火)

長泉町立南小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、さまざまな古代体験を行いました。

土器の分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

弥生式土器と須恵器の区別が難しかった。発掘作業をされている方の目はすごいと思いました。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

石を割っただけで、ものが切れるようになるなんて黒曜石はすごい。でも、このことを発見した大昔の人の知恵はもっとすごいと思いました。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

火がなかなか起きず、汗がたくさん出てきた。でも、少しずつむりが出てきて、火を起こすことができました。大変だったけれども、感動した。



センターの仕事と 展示室見学



埋蔵文化財センターの仕事についての話を聞き、展示室の見学をしました。

<児童の感想>

学校の近くにある原分古墳は、実はすごい古墳だと分かった。コミュニティにある郷土資料館も見に行きたいと思う。



<先生方の感想>

どの体験も丁寧に指導して頂き、子供らが昔の人の生活や知恵に思いをはせる姿が見られた。また、自分の住む地域にも古墳が多くあったことを知り、自分事としての認識も高めることができたと思う。

